そ﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽﷽ト（別紙）を添付してください。**筑波大学 計算科学研究センター**

**２０２０年度　学際共同利用（MCRP-M/S）申請書**

申請日　西暦 年 月 日

(公募案内をよく読んでご記入下さい。)

1. **プロジェクト情報**

|  |
| --- |
| **課題代表氏名:** **所属機関:**  |
| **課題名(英語) ：****課題名(日本語)：** |

以下、ページは増えても良い。但し、全部で4ページ以内に収めること。

**２. プロジェクトの概要**

|  |
| --- |
| **プロジェクトの主目的を選択**　[ プロダクトラン / コード開発] (当てはまらないものを消去) |
| a) **研究の背景・目的**： |
| b) **これまでの研究成果と本年度期待される成果・目標**：　　継続課題の場合は、前年度（2018年度）報告書へのリンクを以下に記し、可能であればハイパーリンクを付与。https://project.ccs.tsukuba.ac.jp/event/9/papers/\*\*/files/\*\*\*.pdf |

**３. 準備状況と申請時間・ノード数とその根拠等**

MCRP-M は全てに記入。MCRP-Sはd), e)を省略可。但し、継続課題の場合、e)の表は記入すること。

|  |
| --- |
| a) **計算コードの準備状況・予備的計算の実施状況**： |
| b) **申請するスパコンを使用する必要性･必然性**： |
| c) **申請する計算時間・最大ノード数**：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請計算資源 | OFP | Cygnus |
| ノード時間積 |  |  |
| 最大ノード数 |  |  |
| ディスク容量 | 20 TB | 15 TB |

**ディスク容量が標準を超える場合は、必要な理由**： |
| d) **申請する計算時間・ノード数の根拠**： |
| e) **並列計算機等の使用実績・MCRP利用実績等**：（初めての学際共同利用申請の場合は以下に使用実績を記述。2019年度からの継続課題は表にプロジェクトコード、数値を記入。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| スパコン名 | OFP | Cygnus |
| プロジェクト・コード | xg\*\*\*\*\*\* | \*\*\*\*\*\*\*\* |
| 初期配分資源 (ノード時間積) |  |  |
| 使用済配分資源(ノード時間積) |  |  |

初めてCygnusを利用するプロジェクトの場合、その希望コード名（英数字８文字以内）： |
| f) **2020年度HPCI課題募集へ課題代表者としての応募**： [ 有 / 無 ] ([http://www.hpci-office.jp/](http://www.hpci-office.jp/?lang=jp))**「有」の場合、その計算機名および課題名**:  |